

BRIG
High Performance Brakes
BRIG Hillclimb Challenge Series

BRIGヒルクライム
チャレンジシリーズ
公式サイト

hillclimbchallenge.com



GUIDE BOOK

2024 BRIGヒルクライムチャレンジシリーズ ガイドブック



！！注意！！

モータースポーツには危険が伴います。
規則やオフィシャルの指示には従った上で、
十分に注意して走行・観戦してください。
万が一、事故などが起きた場合も自己責任と
なりますので、ご了承ください。



企画・運営 株式会社K'sFACTORY
主催 BRIGヒルクライムチャレンジシリーズ実行委員会



株式会社 和光ケミカル

IHI

Realize your dreams

株式会社IHIターボ

〒399-5502 長野県木曾郡大桑村須原1417番地
TEL (0264) 55-2255 FAX (0264) 55-2261
URL: www.ihico.jp/tj/



株式会社ヤマテ工業

電話番号 053-426-6222

FAX 番号 053-426-6227

BBF Brilliant
Buff-
Finishing®

ごあいさつ

「モータースポーツを愛するすべての人々を純粋な気持ちで支え続ける」というスローガンを掲げ、株式会社ブロンコバスターは「BRIGブレーキパッド」をリリースしております。

その精神はBRIGヒルクライムチャレンジシリーズにも及んでおり、すべての自動車愛好家に対して幅広く門戸を開いているのがこのイベントの特徴です。ビギナーから全日本選手権レベルの強者まで、さらにかつて一線で活躍していたベテラン達も呼び戻して一緒に盛り上げていく大きな波に乗って、私どもはさらなる発展を目指しています。1990年代から開催されている「マウンテンクライムin長谷」から始まり、現在は一年を通してより良いモータースポーツ環境を維持するため、参加者と関係者が一丸になってこのBRIGヒルクライムチャレンジシリーズを形作っています。また、公道を使用することから、地元自治体の皆様のご理解ご協力のもと大会は開催されております。そして、スタッフの尽力はもちろんのこと、参加される皆様のお力添えによって、イベントは成り立っております。例えるならばイベント会場まで安全運転を心がけ、大会を走り、地産の食物を食べ、仲間と一夜を過ごし、無事帰路に着く。このようなひとりひとりの気持ちが地域の振興にも繋がり、年を重ねることによって更なる発展を望みます。私どもはその一端を担い、すべての皆様が楽しんで過ごせるひとときを提供してまいります。今後とも、素晴らしいモータースポーツ文化継続のため、皆様のご協力を賜うことができましたら幸いです。

丸山 和彦
BRIGヒルクライムチャレンジシリーズ大会会長

大会役員

大会会長	丸山 和彦	(株式会社ブロンコ・バスター代表取締役)
実行委員長	鈴木 一也	(K's Racing Team代表)
実行委員	清水 和彦	(フレンド・ラリー・クラブ)
実行委員	行徳 聡	(株式会社K'sFACTORY)
事務局長	伊豆野康平	(K's Racing Team)

◆ シリーズについて

ヒルクライムの年間シリーズ戦



山中のターマック(舗装路)を占有して行われるタイムトライアル競技であるヒルクライム。BRIGヒルクライムチャレンジシリーズは、この競技を国内唯一の年間シリーズ戦として開催しております。

年式と排気量、さらに自己申告によるNOVECE/OPEN/X-tremeというクラスをご用意しており、ビギナーからベテランまで幅広く楽しめます。全日本チャンピオン級の選手とも一緒に大会を楽しむこともできるのが特徴です。

◆ 競技方法

2回走行した合計タイムで競います！

BRIGヒルクライムチャレンジシリーズ(含む併催イベント)では、同一コースを2回走行した合計タイムで順位を競います。公道ならではの最後まで気を抜けないドライビングをお楽しみください！

実施方法

- (1) 1台ずつ、試走(大会によってはプラクティス)を行う。事前に指示がない場合は任意のタイミングでスタートし、安全な速度で注意箇所の確認等を行う。ヘルメットの装着は任意だが、3点式以上のシートベルトを装着すること。
- (2) 2回タイム計測を行い、合計タイムで順位を決定する。タイム計測時はヘルメット・グローブ・4点式ベルトを装着すること。
- (3) スタートは原則としてシグナルを使用し、1分ごとに1台ずつ行う。機材に不備が発生した場合、スタッフが声とジェスチャーで合図する。
- (4) フィニッシュラインは看板またはパイロンで示し、横断幕/チェッカーフラッグなどで知らせる。フィニッシュした車両は速やかに減速し、安全な速度で移動する。
- (4) 未通過車両がいた場合、コースを走行中の車両の計測を中断することがある。
- (5) (4)において、**OPEN/X-tremeクラスのみ再計測を行う**。再計測を行わなかった車両については1本目もしくは2本目と同様のタイムを与える。当該車両のタイムが1本も記録されなかった場合において、再計測を行う場合がある。
- (6) コース内の1箇所以上にポストを設置する。
ここでは通過確認を行うとともに、以下に示す旗を掲示する場合があります、指示に従うこと。

赤旗：掲示されたポストで直ちに停車し、スタッフの指示を待つ。停車しなかった場合は失格を上限とするペナルティを与える。



競技中にマシントラブルなどで走行ができなくなった場合は、第一に自身の安全を確保してください。後続車が1分後にやってきます。完全に道を塞いでいる場合は、車外へ出て後続車に対して通過できないことを安全な場所からジェスチャーで知らせてください。車両の通行する空間が確保されていれば、緊急の場合を除き車内で待機をお願いします。

◆シリーズポイント

年間シリーズとして順位に応じてポイントを付与

以下の表の通り、各イベント・クラスごとにポイントを付与します(※)。
参戦した全戦を有効とし、ポイント獲得をした大会をすべて加算します
(参戦数に制限無し)。

※各クラス参加台数3台以上で成立

クラス順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	出走
ポイント	10	7	5	3	2	1	

- ・シリーズポイントにより次戦の出走順を決定します。
- ・OPENクラスでシリーズポイント1位の選手は翌年X-tremeクラス参加審査を行います。
- ・シリーズ表彰対象者は、各クラス2戦以上に参加した方とします。
- ・出走とは、1本目もしくは2本目のいずれかで走行タイムが計時・記録された場合を指します。
- ・ルーキーイヤーの選手には別途ルーキーポイントが与えられます。

◆賞典

各イベントごとに、上位入賞者へは賞典が与えられます。

- ・X-tremeクラス 優勝 賞金3万円 2位 賞金2万円 3位 賞金1万円 (金額は台数による)
- ・OPEN/NOVICE 各クラス1~3位を表彰(ただしクラスの上位30%を目安とする)、副賞
- ・ベストラップ賞 オープンクラス各クラスで最速ラップを記録した選手に賞金1万円
- ・2WDカップ ノービス・オープンそれぞれ2WD車にポイントを与える (排気量分けなし)
- ・ルーキー賞 参戦初年度の選手にポイントを与える (排気量分けなし)

※表彰台数及び賞金、副賞は参加台数によって変更することがあります。

※同タイムの場合、排気量の少ない方を上位とします。更に同排気量の場合、運転者の年齢が高い方を上位とします。



METAL clutch
3Valiation Series

シーンに合わせた3パリエーション。
メタルが愛車のパフォーマンスを最大限に発揮。

Ogura Racing Clutch

◆ 車両・安全装備について

ヒルクライムは公道を使用したモータースポーツです。サーキットのようなエスケープゾーンはありません。また、様々な構造物があり、路面のうねりやギャップ等も存在します。

そして、公道を占有して行うイベントは開催する地元の方々のご理解があって初めて成り立ちます。皆様の安全とイベントの健全な発展のためにも以下の項目を厳守願います。

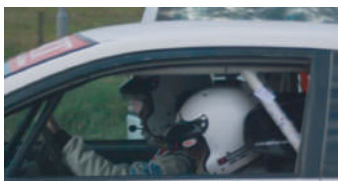
参加車両規定

- (1) 自動車登録番号標が交付されていて、有効な車検を有し、常に継続検査に合格する仕様を維持していること。
補足 禁止事項
定員変更なしに座席を取り外すこと
フェンダーから著しくはみ出たタイヤの装着
規定を超えたエアロの装着など
※公認車検・構造変更などは各協力ショップにご相談ください。
※ナンバーは取得している車両が前提です。一般道においてはきちんと装着してください。
- (2) マフラーについては、車検の通るものとする。
※著しくうるさいと判断された場合は出走できません(車検適合責任は運転者にあります)
- (3) タイヤについては、公道用量産タイヤで1.6mm以上の溝を有し、スリップサインの出していないものとする。走行終了後、残り溝の確認を行う場合がある。使用可能なタイヤについては、クラス区分を参照すること。
- (4) 4点以上のロールバーの装着を推奨する。(オープンボディは必須)※同一線上の4点は認めない
- (5) シートベルトは、4点式以上を装着すること。(同乗者がいる場合、助手席も同様)
※アイボルトの取付はガイドブックに従った方法のみとする(18ページ参照)
※取付方法不具合車両は出走を認めない
- (6) 参加車両の重複出走については不可。

携行品及び所持品、服装

- (1) 非常用停止表示板(三停板)
牽引ロープ
発煙筒
救急薬品 各1つずつ いずれも車載した状態で出走すること。
- (2) ヘルメット・グローブ・レーシングスーツもしくは長袖のつなぎ服とし、サンダルは不可。
- (3) ヘルメットは乗車用安全帽とし、帽体の形状がハーフ形状、スリークオーターズ形状のものは使用できない。
- (4) ノービスクラスでロールバー非装着車両は、HANS(及びFHR)の使用を義務とする。
※Rd4より完全施行(御嶽スーパークライムは注意喚起期間とする)

◆ 同乗について



運転者と同様に安全装備を装着していれば、助手席へ同乗しての走行も可能です。ラリーのコ・ドライバーの練習としてこのイベントに参戦される方もいますし、仲間で楽しむ方もいます。一人より二人で、週末を楽しんでみるのもよいかもしれません。

◆ 車両クラス

BRIGヒルクライムチャレンジシリーズは、ドライビングスキルと年式によるカテゴリ、排気量による車両区分を組み合わせ、合計10クラスで構成されています。

クラス一覧

EXクラスは廃止します

クラス	車両区分		安全装備
ノービス	K	箱型の新規格NA軽自動車	ロールバー非装着の車両はHANS使用を義務とする
	A	排気量 1586cc 以下の車両	
	B	排気量 2800cc 以下の車両	
	C	排気量 2800cc を越える車両	
オープン	A	排気量 1586cc 以下の車両	1. ロールバー 2. HANS 3. 5点式以上のハーネス このうち2点以上装備した車両
	B	排気量 2800cc 以下の車両	
	C	排気量 2800cc を越える車両	
	D/DL	初年度登録が昭和63年以前の車両	
X-treme	X	シリーズ登録選手/車両区分無し	

※過給装置装着車両については排気量に係数1.7を乗ずる。

※ロータリーエンジン車については排気量に係数1.5を乗ずる。

※後付の過給器装着車・ボアアップ車両・エンジンスワップ車等については、事務局がクラス編入を決定するものとしますので、各自お問い合わせください。

※Kクラスについて、バンでも箱型乗用車と同様のボディを有する車両は参戦可能です。

※ノービスクラスにおいてチャンピオンを獲得した選手は翌年オープンクラスへステップアップを義務とします。

※GRヤリス (GXPA16) については2024年もCクラスとなります

クラスごとの特徴

	ノービス	オープン
A	軽ターボ車とコンパクトカーの一騎打ちが繰り広げられるのがAクラス。小排気量と侮るなかれ、まさに“小粒でもビリリ”と辛い勝負が見どころです。	タイヤ選択の幅が広がることによってチューニングも大胆になるオープンAクラス。リトルモンスター達が豪快に駆け上がっていく姿には爽快感を覚えます。
B	テンロクマシンや2リッターNAスポーツがひしめくBクラス。ワインディングの景観が似合うマシンたちが一同に会す、激戦区です。	ラリー車・ピュアスポーツが勝負を繰り広げる展開の多いオープンBクラス、大排気量マシンにも劣らぬタイムで軽快にコースを駆け抜けます！
C	ノービスBクラス同様に激戦区となるノービスCクラス。ランサー・インプレッサはもちろん、2WD勢も果敢に奮闘する展開は要注目です。	テクニックとパワーで豪快なドライビングを披露するオープンCクラス。ときにはX-tremeクラスを凌駕するタイムも！？

Kクラス(箱型の新規格NA軽自動車)



軽自動車でも特に箱型の新規格NA(自然吸気)エンジン車に絞ったクラスのため、リーズナブルなマシンコストとユニークな車種選択が魅力です。トップスピードは決して高くありませんが、その分コーナリングテクニックが試されることとなるでしょう。普段使いのセカンドカーからとっておきのファインチューンKカーまで、小さなボディに様々な可能性を秘めたマシンが走ります。

D(ヒストリック)クラス/DL (レジェンド) クラス



往年の名車たちが他に類を見ない豪快な走りイベントを盛り上げます！BRIGヒルクライムチャレンジシリーズではトップバッターを務めるクラスでもあります。走行タイムを競うだけでなく、占有コースをヒストリックマシンでスポーツ走行する気持ちよさも存分に感じられます。排気量に依らない、軽快な走りにも注目です。

X-tremeクラス



イベントにおいて最高峰クラスに位置付けられるのがこのX-tremeクラスです。賞金も設定されており、スペシャリストが火花を散らします！ハイパワーマシンをスライドさせながら駆け上がる勇姿は圧巻の一言です。

※X-tremeクラスは、年間シリーズ登録し、事務局により承認された選手のみがエントリー可能とします。シリーズ登録した方は大会が優先的にPRします。ただし、原則として年間全戦への出場とし、不出走・欠場した大会への参加費は支払われなければなりません。参加希望の方は個別にお問い合わせください。

The image shows the CUSCO SPORT logo and several blue suspension components. The logo features the text "HIGH PERFORMANCE EQUIPMENT" above "CUSCO SPORT" and "NEW" in a red starburst. Below the logo, it says "CUSCOのモータースポーツの経験を注ぎ込んだ最高峰モデル、登場。" and lists various CUSCO SPORT models: "CUSCO SPORT S", "CUSCO SPORT R", "CUSCO SPORT X", and "CUSCO SPORT G". The suspension components are blue and show various parts like springs and shock absorbers.

◆ イベントスケジュール

Rd	イベント名	開催日	特徴
1	御岳スノーフェスティバル KRTスノーチャレンジ ポイント対象外	2月11日 日曜日	冬期間、長野県木曽郡木曽町で開設される「御岳スノーランド」を舞台に雪上で行われるタイムトライアルです。ハイパワー4WDを駆るエクストリームクラスの走りは圧巻!
2	御嶽スーパークライムVol.1	4月20日 土曜日	御嶽山の麓を舞台に、定番のワインディングロードを駆け上がります。Vol.2との2日連続開催を経て、現在は1日ずつの単独開催ですが、それぞれ異なるコースを設定します。
3	御嶽スーパークライムVol.2	4月21日 日曜日	Vol.1に引き続き、御嶽山周辺の道路を利用したコースです。それぞれ異なる特徴を持ったレイアウトながら、雄大な木曽地域の自然の中を駆け抜けるという点は共通です。
4	恵那モータースポーツ フェスティバルin笠置山	7月13日土曜日 ~14日日曜日	2019年から『恵那笠置山モーターパーク』をメイン会場として始まった大会。ヒルクライム屈指のハイスピードコース。路面コンディションはシリーズ最良。コース中にジムカーナセクションがある。
5	御岳高原ヒルクライム	9月7日土曜日 ~8日日曜日	舞台を御嶽の麓に戻し、いよいよシーズンも終盤に入ります。御嶽スーパークライムVol.1&2とはまた趣の異なる、初秋のヒルクライムをお楽しみください。クラスごとに土曜と日曜を分けます。
6	ALL JAPAN HILL CLIMB Festival in王滝	11月9日土曜日 ~10日日曜日	今年はシリーズ最終戦として土日で開催。参加資格に制限をなくし憧れのコースをみんなで走れます。ある意味最もヒルクライムらしいコース。トリッキーなコースを楽しんでください。
シリーズ表彰式	シリーズ表彰式	11月10日 日曜日	フェスティバルとして他イベントを併催して行います。シリーズ表彰式も併せて行います。一年の締めくくりをみんなで楽しみましょう。

◆ ALL JAPAN HILL CLIMB Festival

シリーズ最終戦となるALL JAPAN HILL CLIMB Festival in 王滝。2016年に長野県木曾郡木曾町で開催され、2017年からは隣の長野県木曾郡王滝村を舞台とし、総勢150台オーバーのビッグイベントとなっています。豪快ながらもテクニカルなコースはマシンセット、腕の見せどころです！

出展ブースやデモ走行、車両展示もあります！駐車場から歩いて入場できる観戦場所もご用意しておりますので、ギャラリーをされる方にもうってつけのイベントです。

特設サイト alljapan.hillclimbchallenge.com

日程 土曜日

- ・ BRIGヒルクライムチャレンジシリーズ第6戦
練習走行2本

- ・ 『ONTAKE SALITA』練習走行 2本試走

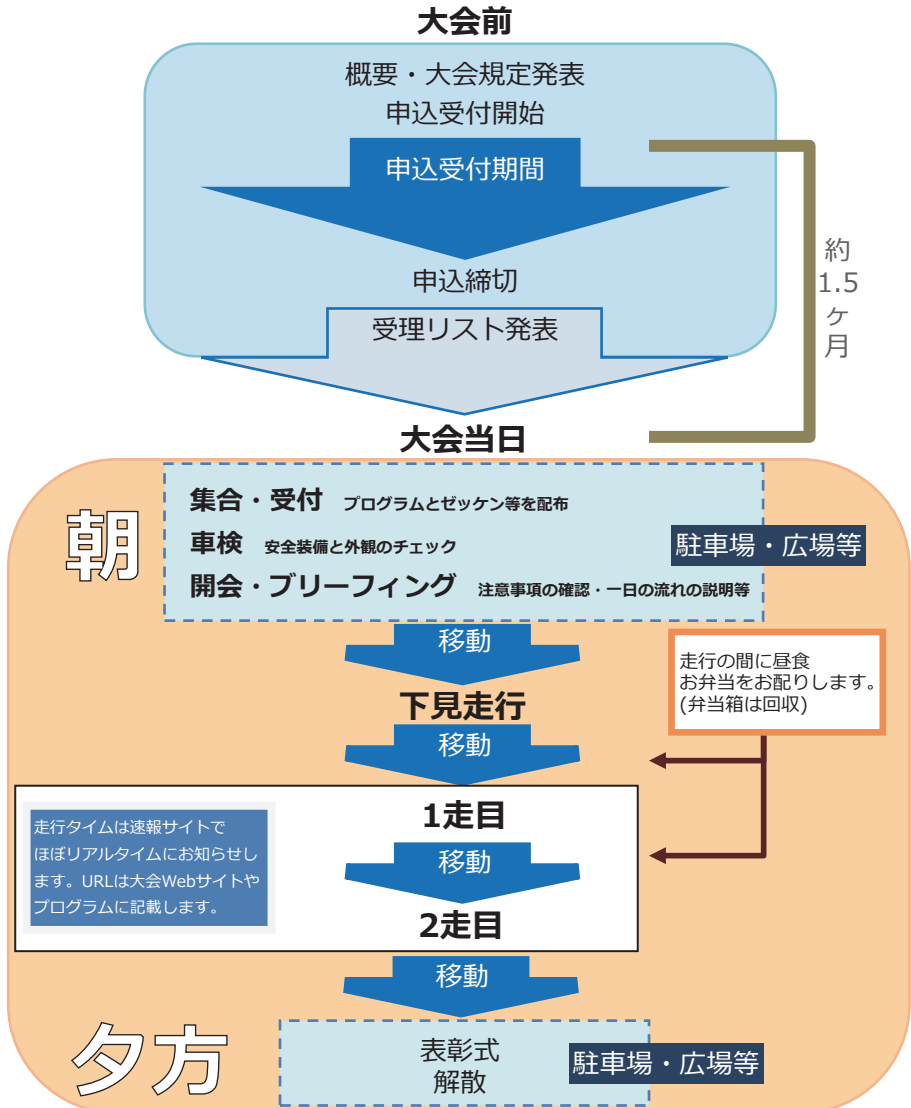
日曜日 フェスティバル

- ・ BRIGヒルクライムチャレンジシリーズ第6戦 2本走行（計測します）
- ・ BRIGドライビングチャレンジ 2本走行
- ・ ONTAKE SALITA本戦 2本走行（計測します）
- ・ デモラン・同乗走行・試乗会など
- ・ その他出展ブース多数

- 参加資格
- ・ 2024年シリーズ中に1戦でも参加している選手
 - ・ 2024年JAF選手権でシリーズ3位以内の選手（参加費無料招待）
 - ・ 2024年JMRC戦でシリーズ1位の選手（参加費無料招待）



◆ ヒルクライムの流れ



申込み～大会までの大まかな流れです。大会ごとに差異があります。詳細は大会規定を御覧ください。(特別戦はスケジュールが違います)

◆大会公式ウェブサイト/事務局

BRIGヒルクライムチャレンジシリーズの詳細情報は

hillclimbchallenge.com

をご覧ください。
最新情報やイベントの告知、参加者向けの案内を掲載しております。



お問い合わせ先/事務局

〒399-4511

長野県上伊那郡南箕輪村神子柴7581

株式会社 **K'sFACTORY**

TEL 0265-76-8162 FAX 0265-96-7339

E-mail info@hillclimbchallenge.com



◆ 参加申込み

参加費(参考) ※大会によって参加費は変わります
各クラス 概ね 20,000円
同乗 3,000円

BRIGブレーキパッド
装着者割引制度有り

※各大会の規定により異なる場合があります。(特別戦など)

参加申込みの打ち切り

大会ごとに、規定台数に達した場合、参加申込み期間終了前に締め切ることがあります。

参加申込み受付期間

大会規定に記載の期日とし、郵送の場合は期間内に必着とします。

参加申込先

〒399-4511
長野県上伊那郡南箕輪村神子柴7581
株式会社K'sFACTORY
TEL 0265-76-8162 FAX 0265-96-7339
E-mail entry@hillclimbchallenge.com
申込みフォームURL hillclimbchallenge.com/entryform/

所定の申込み用紙をサイトからダウンロードしてFAXかメールでお申し込みください。

郵送以外でお申込みの方は、大会当日に署名捺印済みの申込書原本または誓約書をお持ち下さい。

参加料振込先 **参加費については全額銀行振込とします。**

アルプス中央信用金庫 竜東支店
普通口座 7145196 口座名義 カ) ケーズファクトリー

シリーズ登録割引について

シリーズ登録を行い、2024年シリーズに3戦以上参戦する人には割引を設定します

BRIG割引について

BRIGブレーキパッド装着車両で、条件を満たして参加する場合は、**3000円引き!**
「ヒルクライムスベック」装着車はさらに**2000円引き**で、合計**5000円**もお得になります!
※1 参加車両名に「BRIG」を入れ、車体にステッカーを貼り付けていること。
※2 BRIGサポートドライバーは対象外とします。

割引には、メーカーが発行した販売証明書の写しが必要です。
販売証明書の写しについては、有効期限を以下の通り設定いたします。
購入日の翌年の12月31日まで
証明書の発行方法や、不明な点は事務局までお問い合わせください。
販売証明は一度ご提出いただければ期限はこちらで管理します。

◆ 保険

希望者は、下記内容の搭乗者傷害保険の加入ができます。(フレンドラリークラブへ同時加入)一度加入すると、年度内は何度でも適用されます。(4月1日～3月31日)

スポーツ安全保険 搭乗者障害3,000万円(最高額)
保険料+準クラブ会費を合わせて 5,000円

※ガードレール等の道路施設を破損した場合は、原状復旧費用を請求させていただきます。
道路をお借りするにあたって厳しく検査されていますので、必要な方は競技用対物保険加入をおすすめします。
競技用対物保険について、事務局(株式会社K'sFACTORY)でも加入できます。詳細はお問い合わせください。

◆ 注意事項

参加資格

参加車両を運転するのに有効な自動車運転免許証を保有していることが条件です。

参加者の遵守事項

競技中はいかなることがあろうとも、現行道路交通法の遵守を優先とし、他の交通に迷惑を及ぼしてはなりません。

競技中は主催者の指示に従い、スポーツマンとして公正な行動をとりましょう。

本競技会のための、練習走行を禁止し、明らかにその行為と認められた場合は、失格を含むペナルティを課すとともに、損害賠償等の責を負うものとします。

損害の賠償

参加者は、主催者及び道路管理者が、一切の損害賠償の責任を免除されていることを了承しなければなりません。

参加者は、道路及び付帯施設を損壊した場合は速やかに主催者に申告し、責任をもって原状復帰を行ってください。

失格

主催者の判断により参加者に失格を言い渡すことがあります。

会場内での暴走行為を禁止し、発覚した場合は失格とします。

コースオープン/クローズ時刻を設定している場合は遵守をお願いします。スタッフに許可を得ず時間外の走行/立ち入りをした場合、失格を言い渡すことがあります。

また、大会開催日より50日前からは、開催エリアにおいて事前試走及び練習走行とみなす行為を禁止します。発覚した場合は失格とします。

◆協カショップ

BRIGヒルクライムチャレンジシリーズと一緒に盛り上げてくれるショップを掲載しています。

M2ファクトリー

〒509-8301
岐阜県中津川市蛭川5736-1
TEL 0573-22-9081
URL m2factory.net



堀総合自動車株式会社

〒939-1117
富山県高岡市戸出大清水147
TEL 0766-63-5050



小山スピード

〒252-0244
神奈川県相模原市中央区田名6891-1
TEL 042-763-0551



TOOL BOX

〒444-1222
愛知県安城市和泉町大海古3-12
TEL 0566-55-4015
URL www.muro-gnomise.com



くるま相談室

〒761-8058
香川県高松市勅使町150-3
TEL 087-816-4141
URL kurumasoudan.main.jp

ヤマダオート

〒468-0066
愛知県名古屋市天白区元八事2-144
TEL 052-839-0554



BRIGヒルクライムチャレンジシリーズ ガイドブックに関するお問い合わせ先

株式会社K'sFACTORY

〒399-4511
長野県上伊那郡南箕輪村神子柴7581
車両製作・ヒルクライム競技の開催についてもご相談ください。

TEL 0265-76-8162 FAX 0265-96-7339
E-mail info@hillclimbchallengenag.com

◆チーム紹介

BRIGヒルクライムチャレンジシリーズと一緒に盛り上げてくれるチームです。是非みなさんも仲間に入って、より楽しみましょう。

M2ファクトリー

〒509-8301
岐阜県中津川市蛭川5736-1
TEL 0573-22-9081
URL m2factory.net

ダートラを中心に活動している。
若者も多く、ジムカーナ走行会なども
主催している活発なチーム。

Y-MAX Racing

〒468-0066
愛知県名古屋市天白区元八事2-144
TEL 052-839-0554

サーキットやジムカーナも楽しむ、手軽に
参加できるチーム。
楽しむ走りをしたい人には向いています。

小山スピード

〒252-0244
神奈川県相模原市中央区田名6891-1
TEL 042-763-0551

競技系の集まりだが、チューニングなど
車の楽しみ方を知っているチーム。
年齢層は高いが若者もOK

TOOL BOX

〒444-1222
愛知県安城市和泉町大海古3-12
TEL 0566-55-4015
URL www.muro-gnomise.com

ストリート系というよりなんでもやろう
という楽しみ派。競技・サーキット何でも
面倒見ます！

くるま相談室

〒761-8058
香川県高松市勅使町150-3
TEL 087-816-4141
URL kurumasoudan.main.jp

エッセ専門店。元日産エンジニアが
エッセを徹底的に遊びつくす。
チーム員は全国にいます。

K's Racing Team

〒399-4511
長野県上伊那郡南箕輪村7581
TEL 0265-76-8162
URL ks-rally.com

競技系チームだが、ヒルクライムでは
いろいろな選手や車が集まっている。
やはり全国の選手がチームに所属



K'sFACTORY が安全装備導入に協力します

皆さんの安全を守る安全ハーネスですが、アンカー（アイボルト）をきちんとつけてますか？
2022年からシリーズでは危険とみなされる取付方法とアイボルトを認めません



シートレールに延長ステー シートレールのボルトから延長ステー アイボルト自体が強度不足



純正ベルトのボルト穴を使う ストレスプレートをボルトで固定 もちろん溶接付けが一番

K'sFACTORY ではヒルクライム参加者の安全のために、日帰り施行、格安施行を行います

レーシングスーツ



K'sFACTORY オリジナル 2レイヤー-Nomex レーススーツ 36000円(税別)

FIA 公認ではないですが、Nomex（難燃）素材で製作しているため、国内のほとんどのカテゴリで使用可能
ご希望で3レイヤーなども製作できます。プリントもご用命ください

6点式フルハーネス（HANS 用もあります）



FIA 公認 3x3inch
27800円(税別)
3x2 inch For HANS
29800円(税別)

ロールケージ取付



フル溶接 FIA タイプ
だけでなく、ボルト
オンなどの手軽なタ
イプも格安で取付し
ます



BRIG HillClimb Challenge Series

BRIG Brake Pad 新発売

K'sFACTORYと共同開発

Spec Nで手軽にスポーツドライビング

Hill Climb Spec N 15000円(税別)

Kcar独自の悩みを解消

SpecK 20000円(税別) SpecE 18000円(税別)

ハイグリップタイヤ・重量車には Spec R

Hill Climb Spec R 20000円(税別)

設定のない車種も製作可能

SpecD 旧車 25000円

SpecEURO 欧州車 30000円

注文・お問合せ先 **K'sFACTORY** info@ks-rally.com

木曾おんたけ観光局

KISO ONTAKE TOURISM OFFICE



木曾おんたけ
観光局

〒397-0001 長野県木曾郡木曾町福島2012-5

TEL : 0264-25-6000



木曾エリア最大級ゲレンデ、おんたけ2240

中央アルプスの大パノラマを眼前に、
スノーパフォーマンスの醍醐味を満喫！